資料２－３

千葉市の新庁舎の目指す姿

将来の変化への柔軟性の確保

- 可変性
- 変化への対応性
- 保全性
- 経済性

非常時の業務継続性の確保

- 災害安全性
- 構造安全性
- 防災拠点性
- 業務継続性

通常業務の遂行性の確保

- 利便性
- 機能性
- 環境先進性
- 防犯性

具体的な使い方、機能、建築計画、設備等

千葉市の情報発信
植樹の場
フリースペース
曖昧な空間
開かれた庁舎
様々な組織との連携
企業/団体/市民交流の場
まちづくりの中心
シンボル
生物多様性
垂直性と水平性
成長性
人材育成
政策立案への市民参加
市民本位
市民/企業/行政の一体化
資源循環
職員研修
自然との共生
次世代
若い力
自発性
双方向性
交流
中心性
ソフトとハード
都市観光
ブランディング
市民の力
市民協働
インキュベート
本庁機能としての庁舎

理念を具体化する整備方針（キーワード）

フレキシブルなレイアウト
用途変更対応
ユニバーサルレイアウト
スペースのゆとり
柔軟性
変化への柔軟対応性
多目的性
省メンテ
バルコニーの設置
効率性
更新ルート/スペース確保
省エネ
ESCO
収益性
民活
コスト削減
開放性
会議室の土日開放
アクセス性
民間施設導入
高齢者が集える
市民交流スペース
市民交流
利用しやすい食堂/飲食店
迎賓スペース
図書館機能
モノ駅からの動線
開かれた議会
バスの乗り入れ
議事堂棟の一般開放

基本構想における《あるべき姿》

将来の変化への柔軟性の確保

- ●将来の人口構成や社会のニーズの変化に対応できる庁舎
- ●長期感にわたり効率的に使い続けることができる庁舎

非常時の業務継続性の確保

- ●地震をはじめ、災害に強い構造を備えた庁舎
- ●非常時の業務継続機能を備えた庁舎

通常業務の遂行性の確保

- ●市民や事業者にとって使いやすく、利便性や機能性に優れ、環境に配慮した庁舎
- ●優れたセキュリティを持ち、安全に業務遂行できる庁舎

親近感
おもてなし
ユニバーサルデザイン
ワンストップ窓口
合理性
知的生産性
健康経営
予防医療
文書管理
華美ではない
シンプルデザイン
自然エネルギー
みなと公園の緑とのつながり
木材利用（千葉県産）
コジェネ
地下水利用
地域冷暖房
再生可能エネルギー
緑化

ヘリポート
リスクへの技術的対応
豪雨/大雪対策
宿直機能
災害対策
液状化対策
2セットのオペレーション
信頼性
浸水/高潮対策
予備スペース確保
司令塔
設備の耐震性
免震/制振
情報拠点
議事堂棟の災害時利用
災害本部の中層階配置
関連団体の活動スペース
災害協定
レジリエンス
情報収集・情報発信の拠点
官民連携
物流拠点
周辺との連携
帰宅困難者対応
転用性
シームレス
みなと公園の活用
駐車場の活用
非常時スペースの通常時の有効活用
インフラ途絶対策
BCP
電力の多重化
備蓄における民間連携
ろ過設備
中圧ガス
備蓄
防災トイレ
セキュリティラインの明確化
フロント/バックによる分棟案